

高岡教区

教区報

2015

9月号

念仏のこころに生きる生活を



福島県飯館村の子供たちがお寺でホームステイ

挨拶、「我が家に帰って来たよつな気持ちで、大変

今回で四回目となる高岡教区ホームステイ事業が、八月九日より三泊四日の日程で実施された。原発災害で避難生活が続く福島県飯館村吉倉宿舎から、子供二十一名を含む総勢三十四名、十一家族のメンバーが来県、教区内の十一ヶ寺（十組）に分宿、暫し富山の自然に触れ、またホストファミリーとの交流を深めた。

早朝、福島市を出発した一行は七時間の移動を経て西本願寺高岡会館に到着、礼拝堂での交流会では、西岡教務所長の歓迎の挨拶に続いて、吉倉宿舎の嶋原自治会長が

うれしいです」と述べられた。昨年が続いて来県した子供たちは、一年ぶりに会うホストファミリーや教区のスタッフとの再会を笑顔で喜んでいた。

また、十日には射水市の海王丸パークに集合、帆船海王丸の見学や来航していた練習船「大成丸」や「海王丸」の雄大な出港の姿を見送り元気に観光を楽しんだ。また、午後からは、高岡市松太枝浜での海水浴や、恒例となったスイカ割りを楽しんだ。参加された親御さんからは「本当に楽しみにしていたので子供たちを海で安心して遊ばせてやれてよかった」といった感想が聞かれた。

この事業も四回目となり、各組での交流がより深まっていることを伺った。一行は十二日まで滞在、出発前には会館で最後の交流会が開かれ、教区や家族青年会のお土産や、門信徒の方からの寄付金等の贈呈が行われ、帰路に就かれた。

企画運営を行った教区災害救援専門委員会（織田隆夫委員長）では、「国や東電の方針も全く見えない中で吉倉宿舎のみなさんも不安を抱えておられる。しかし、教区として支援米事業や年末の餅つきを今後も引き続き行い交流を深めるため協議を続けたい」としている。

専如ご門主教区巡回のお知らせ

2016（平成28）年6月6日（月）専如ご門主さまによる教区巡回が行われます。午前に井波別院・福光教堂をご巡拝、午後からは西本願寺高岡会館をご巡回されます。詳細が決まりましたら改めてお知らせさせていただきます。

高岡教務所では今年度もカレンダーの注文を受け承ります。

お電話で注文頂ければご寺院宛に配達を致します。

担当の高島までご連絡ください。

- 法語カレンダー・・・150円
- ほのぼのカレンダー・・・150円
- 月々のことば・・・700円
- 心に響くことば・・・120円

第二ブロック仏青連盟研修会が開催

九月五、六日にかけて西本願寺高岡会館及び高岡龍谷高校を会場に第二ブロック仏青連盟研修会が開催された。これは、第二ブロック（富山・石川・福井・岐阜・東海・高岡）の各教区仏青連盟が持ち回りで研修会を開催している行事で、今年度は、高岡教区仏教青年会（福田慶隆会長）が担当となり、「いのちいただきます」ごちそうさまが聞こえない」というテーマで、約六十名が参加した。

開会式後、研修 が行なわれ、高岡龍谷高校調理棟において、講師である渋谷誠さん（氷見組浄蓮寺衆徒・料理人）と龍谷高校調理課三年生十人の指導の中、



班に分かれて生きた鮎の調理（塩焼き・から揚げ）を行なった。一時間前に庄川から運んだ鮎は、初めて触る参加者も多く、生きた鮎の調理に戸惑いと驚きの中の研修であったが、時間が経つと徐々に慣れ、手際よく調理する姿も見られた。調理後、鮎を食べるときには、調理時

での戸惑いは全くなく、一人あたり三匹の鮎をおいしくいただいた。

続いて研修 では、教室に移動し、龍谷高校教諭である鷺森昭見先生（氷見西組浄善寺住職）による講義を聞いた。先生は、普段、高校生に授業をされるような形で講義を行っていた。私たちが人間は、動物のいのちを頂くこと

でしか生きられない生き物であるということをお話され、今一度、いのちについて深く考えさせられた。

二日目は、研修 を受けて参加者が各班に分かれフリートークをした。班別発表では、「金串で鮎を刺す時に、とても苦しんでいるように見えた」「塩焼きとから揚げは調理の仕方が違ったため、塩焼きの方がよいのちを奪う実感が強かった」等の発表があり、改めて、調理において鮎のいのちを奪っていることを強く感じたようであった。その後、金箔押し体験（箸の製作・大越仏壇協力）を行い、それぞれ作った箸をおみやげにして、研修は終了した。

今回、龍谷高校で研修を行ったが、参加者からは、「学生時代が懐かしい」「現役の高校生と会話ができて良かった」という声があり、参加者はもとより、スタッフにとっても満足度の高い研修会であった。



第五十二回本山杯野球大会

八月二十九日（土）富山教区担当で、五福公園Aグラウンドにて、本願寺野球部・富山教区野球部と高岡教区チーム（清水了純代表・桃井忠敏監督）が三ツ巴での試合を行いました。本山杯は富山教区野球部が高岡教区チームに勝ち、優勝いたしました。結果は、本願寺×富山は6対4、高岡×富山は4対6、高岡×本願寺は、1対7となり、本願寺野球部2勝、富山教区野球部1勝1敗、高岡チーム2敗という試合結果でした。尚、優秀選手賞として、高岡教区からは、五十田秀慧さん（砺波組安詳寺）が選ばれました。

また、試合終了後、ダイワロイネットホテル一階で懇親会を行い、約七十名の参加のもと互いの健闘を称えあい、夜遅くまで懇親を深めていました。

今回、高岡教区は各組より二十名の選手が集まり、チームとして機能しはじめたということで、来年こそは、本山杯奪還をと誓い合いました。



御同朋の社会をめざす運動のコーナー

二〇一五年度第一回中央委員会報告

去る七月三十一日に今年度の第一回「御同朋の社会をめざす運動」中央委員会が開催されました。各教区の中央委員はもとより、宗派からは総局をはじめ宗務所員代表等が出席し、各教区からの意見具申（旧「建議」）について意見が交わされました。

最初に備後教区から教区委員会委員の任期見直しについて（一期二会計年度・二期まで）の意見具申について協議が行なわれ、高岡教区からも過去二回、意見具申をしていることもあり、再度口頭で変更の要請を致しました。総局から前向きに検討していく旨の答弁があり、本願寺新報九月一日号にも掲載の通りです。

次に非戦・平和の宗派声明を求め、備後・熊本・鹿児島・福岡教区、沖縄宗務事務所、五教区から安全保障関連法案反対の意見具申が提出されました。総局の意向を求める意見に対し、総長から前向きに進めていきたいとの答弁がありました。「しかし、様々な意見を拝聴し、全宗門的な見地から何らかの形で意思を表明したい」というはっきりとした答えではありませんでした。

意見具申についての協議の後、宗門における非戦平和の取り組みについて総合研究所の丘山願海所長から「平和に関する論点整理（要約）」の説明を受けました。しかし、その内容がこれまでの運動の理念とは、あまりにもか離れたものであったことから各教区より意見が出されまし

た。高岡教区をはじめとして、戦後五十周年全戦没者追悼法要に際しての門主「親教」、当時の総長による「ご親教をいただいて」「の受けとめや」「戦後問題」検討委員会答申」についての踏襲、再確認の苦言が相次いで出されたことです。何より現在の実践運動が歴史の事実から出発し、自らの体質を改めていこうとする理念からはずれ、観念的な平和運動になっていることが露呈したと思われる一面でした。高岡教区からも、あらためて法案反対の宗派声明を口頭で強く要請致しました。


すでに、先月の教区報に同封されていますが、八月十日付で宗派から「声明」ではなく、「総長談話」という形で発表されています。内容についても「安全保障関連法案について国民が納得できるよう願うもの」であり、意見具申で求めている法案反対の表明から離れた非常に残念なものであることは周知の通りです。

再び宗門が宗祖の（誤った世間に抗っていかれた）（ここに背き、国策に同調・迎合していかないよう、これまでの運動の取り組みを再確認することが重要です。本年度の僧侶研修会は「戦後七十年を迎えて」私たちの教学の視座を考える」をテーマに開催されます。非戦・平和に取り組む運動理念を学んでいただくために、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

【実践運動中央委員会委員・

実践運動教区委員会副委員長 山名一徳】

これからの日程 (9 / 1 9 ~ 1 0 / 2 3)

9月		
19	僧侶研修会 (1 回目)	
23	長寿苑ビハーラ活動	
24	僧侶研修会 (2 回目)	
25	僧侶研修会 (3 回目)	
26	さくら保育園運動会	
28	教材・情報委員会 連区門徒総代連絡協議会	
29	ヤスクニ問題専門委員会 仏婦実践運動研修会 寺青声明サークル	
30	高寿会研修旅行 教区コーラス練習日	
10月		
1	龍谷教学会議例会 財団理事会	
2	講社連盟役員会 藤園苑報恩講 キッズサンガ委員会	
5		
6	骨董市 (会場貸 ・ ~ 8)	
7	僧侶研修会反省会 雨晴苑ビハーラ活動	
13	教区コーラス練習日	
14	常例法座	
15	寺青声明サークル	
23	聖典セミナー (7 回目)	

ラジオ放送 ~ 西本願寺の時間 ~

『みほとけとともに』

北日本放送 (K N B) ・ 7 3 8 kHz.
毎週土曜日 (本山制作) 午前 6:15 ~ 6:25
第 2 ・ 4 日曜日 (富山 ・ 高岡制作) 午前 6:00 ~ 6:10

9 / 13 (日) : 中 哲陵 氏 (富山教区 ・ 西光寺)

9 / 19 (土) : 藤丸 智雄 氏

(総合研究所副所長、岡山県 ・ 源照寺)

「千鳥ヶ淵って何ですか？」

9 / 26 (土) : 藤丸 智雄 氏

(総合研究所副所長、岡山県 ・ 源照寺)

「若者へ『戦争』を伝えるには」

9 / 27 (日) : 未 定 (富山教区)

10 / 3 (土) : 藤丸 智雄 氏

(総合研究所副所長、岡山県 ・ 源照寺)

「平和を願う歌を聴く」

10 / 10 (土) : 未 定

10 / 11 (日) : 未 定 (高岡教区)

10 / 17 (土) : 未 定

【西本願寺高岡会館10月の常例法座】

ご講師: 初瀬部有可氏

(高岡教区 ・ 宝性寺)

ご講題: 『願いの中に生かされて』

午後 1 時 2 0 分頃からビデオ上映、2 時から
お正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘い
あわせてお参りください。

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱 (175 袋) 8 , 3 0 0 円

・大 箱 (36 袋) 2 , 3 0 0 円

・ 1 組 (10 袋) 5 0 0 円

お申込み先は・・・〒933 - 0878

高岡市東上関446 高岡教務所内(寺族青年会担当)

Tel. (050)5587-7708(代表) Fax.(0766)21-5152

編集後記

九月に入り朝晩涼しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。この時期、体調を崩される方が多いように見受けられます。

先般、老人施設の職員の方とお話をした時、季節の変わり目に体調を崩される入居者が多いと聞きました。このような施設は、一定の室温を保って、入居者の体調変化をつぶさに見ているにもかかわらず、この変わり目に予期せぬことがあるということです。

体調管理に十分留意していても想像もなかったことが起きる・・・私たちは常に「まさか」という道の中にいると気づかされます。